

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が238例(男性132例(10歳代26例, 20歳代42例, 30歳代19例, 40歳代12例, 50歳代21例, 60歳代4例, 70歳代4例, 80歳代2例, 90歳代1例, 年齢非公開1例), 女性104例(10歳代13例, 20歳代36例, 30歳代18例, 40歳代8例, 50歳代17例, 60歳代1例, 70歳代6例, 80歳代2例, 100歳以上1例, 年齢非公開2例), 性別及び年齢非公開2例)あり, 本年の累積報告数は8,683例になりました。

本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(10歳代及び20歳代女性各1例)ありました。症状はともに腹痛, 水様性下痢等で, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は14例となりました。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(70歳代男性)あり, 症状は発熱, 肺炎です。感染地域は国内, 感染経路は塵埃(じんあい)です。本年の累積報告数は14例となりました。

レジオネラ症の原因菌のレジオネラ属菌は, 冷却塔・給湯系などの水系に生息する他, 土壌等の自然界に常在するため, 菌に汚染された粉塵等を吸い込むことでも感染します。なお, ヒトからヒトへの感染はありません。

- RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.47で, 前週の3.51から減少しました。全国でも今週4.64(前週5.98)で減少しましたが, 連休の影響から報告数が少なくなったことが考えられます。来週以降の動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <レジオネラ症>

京都市では, 第29週にレジオネラ症の報告が1例ありました。累積報告数は14例となり, 昨年1年間の累積報告数と同数となりました。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 2例(肺結核 なし, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 137例(肺結核 47例, その他結核 39例, 潜在性結核感染者 51例)うち喀痰塗抹陽性 20例】
- 新型コロナウイルス感染症 238例【1月以降の累積報告数8,683例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 14例】
- 四類: レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 14例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① RSウイルス感染症	2.47	106
	② 感染性胃腸炎	1.81	78
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	23
	④ 突発性発しん	0.30	13
	⑤ 咽頭結膜熱	0.12	5
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <レジオネラ症>

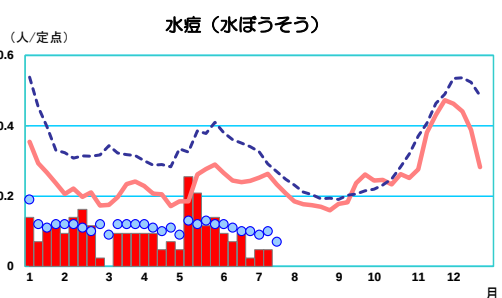
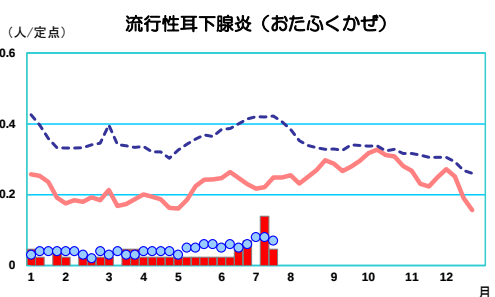
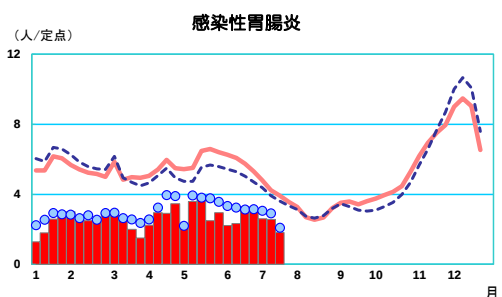
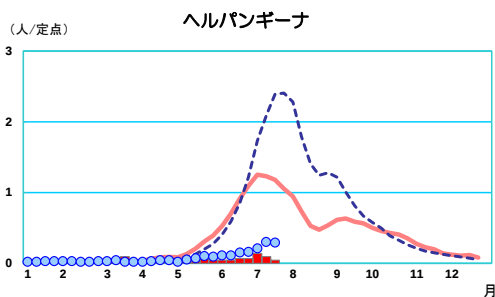
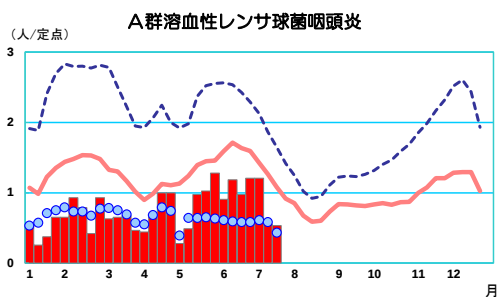
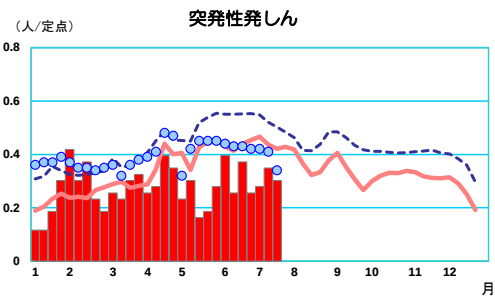
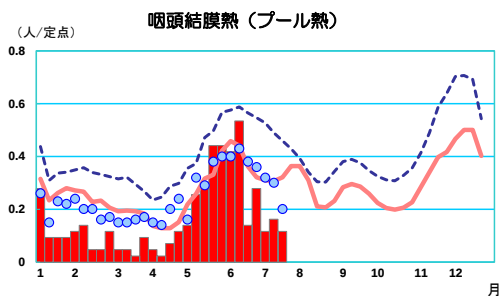
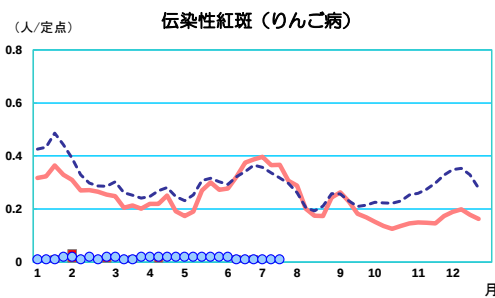
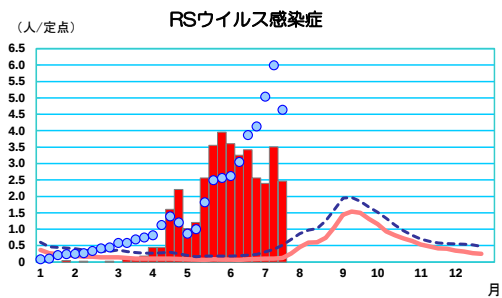
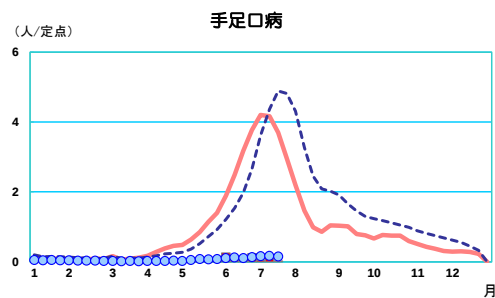
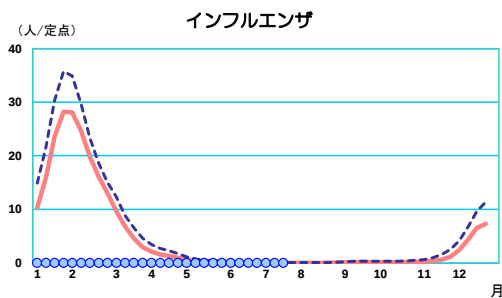
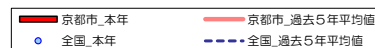
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年7月29日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

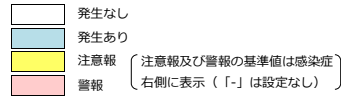
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

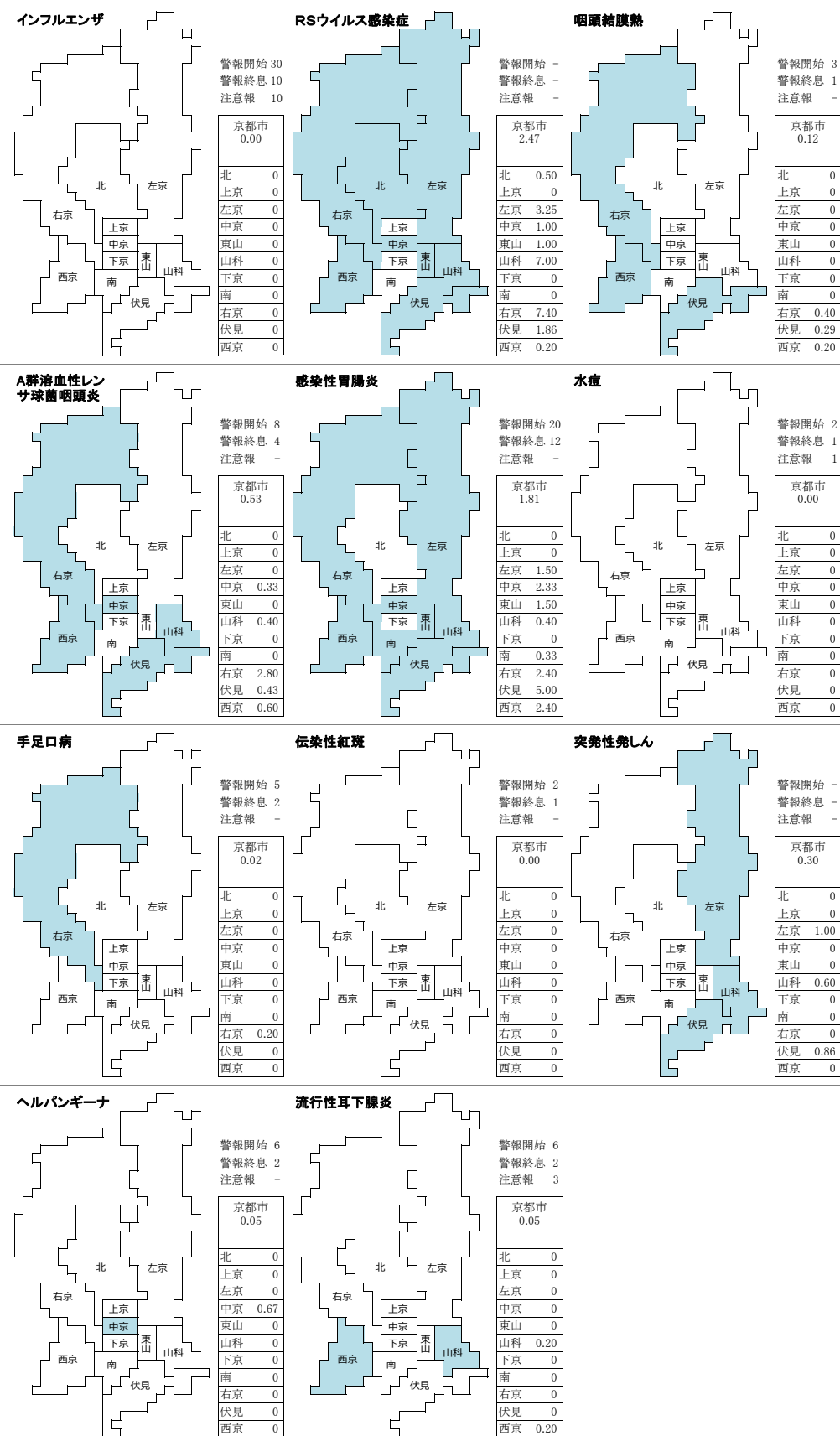
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第29週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第29週(7月19日～7月25日)トピックス: <レジオネラ症>

京都市では、第29週にレジオネラ症の報告が1例ありました。累積報告数は14例となり、昨年1年間の累積報告数と同数となりました。

2001年以降の京都市におけるレジオネラ症の年間報告数は年ごとの差が大きく、最も多かった2019年でも33例にとどまるため、発生動向をみるにはやや例数が少ない状況ではありますが、おおまかにみると、増加傾向と言えます。全国では第29週までの累積報告数は970例、昨年2020年は2,058例で、最も多かった2019年の2,316例に比べるとやや減少しましたが、おおむね増加傾向にあります(図1)。

性別及び年齢階級別に過去10年間の発生動向をみると、年ごとで構成に大きな変化はありません。男女比は、男性がほぼ8割、女性がほぼ2割で男性が圧倒的に多くなっています。内訳を年齢階級別にみると、男性では50歳未満は1割に満たず、50歳以上が大部分を占めます。50歳代で15%程度、60歳代で30%弱、70歳以上で30～40%と、年齢が高いほど報告も多くなっています。女性では70歳未満が5%程度、70歳以上で15%前後で、女性でも高齢者で多くの報告があります(図2)。

レジオネラ症の感染経路は、大きく分けて二つあり、一つは温泉や浴場等の水系、もう一つは土木作業や庭いじり等の塵埃(じんあい)とされています。

原因菌であるレジオネラ属菌は、本来土壌などに生息する常在菌ですが、エアロゾルを発生させる人工環境(噴水等の水景施設、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等)や循環水を利用した風呂などが適切に維持管理されていない場合に感染源となる恐れがあります。病原体に曝露されても必ずしも発症するわけではありませんが、高齢者、新生児及び免疫の低下した人は注意が必要です。

配管・タンク内部の「ぬめり」の清掃・消毒や、土木作業・土いじりの際には、塵や埃を吸い込まないようにマスクを着用することが予防となります。

図1 京都市及び全国の報告数の推移(2001年～2021年第29週)

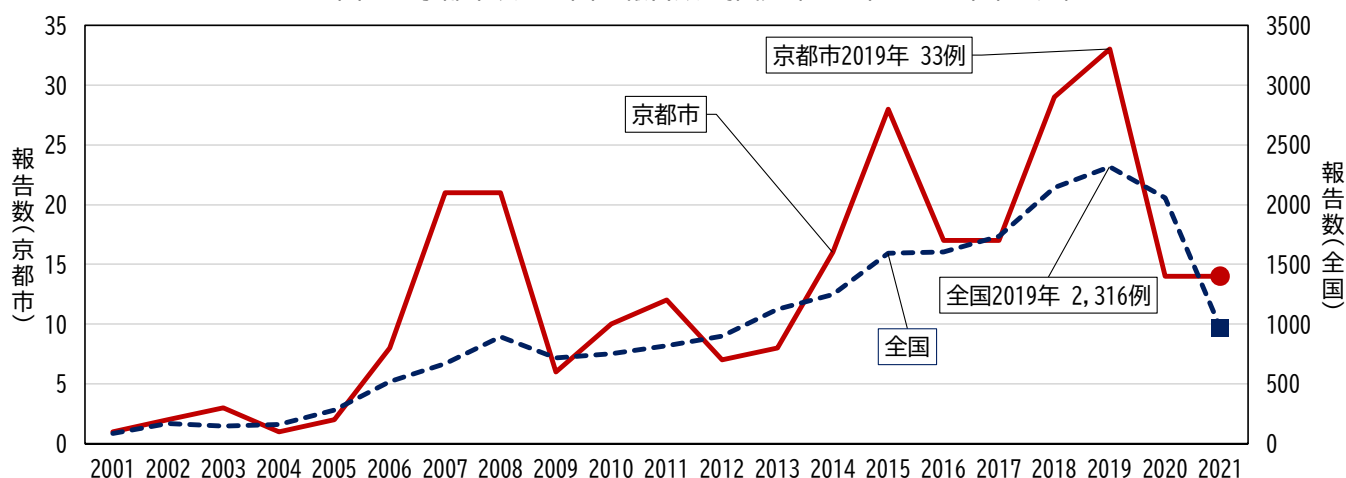
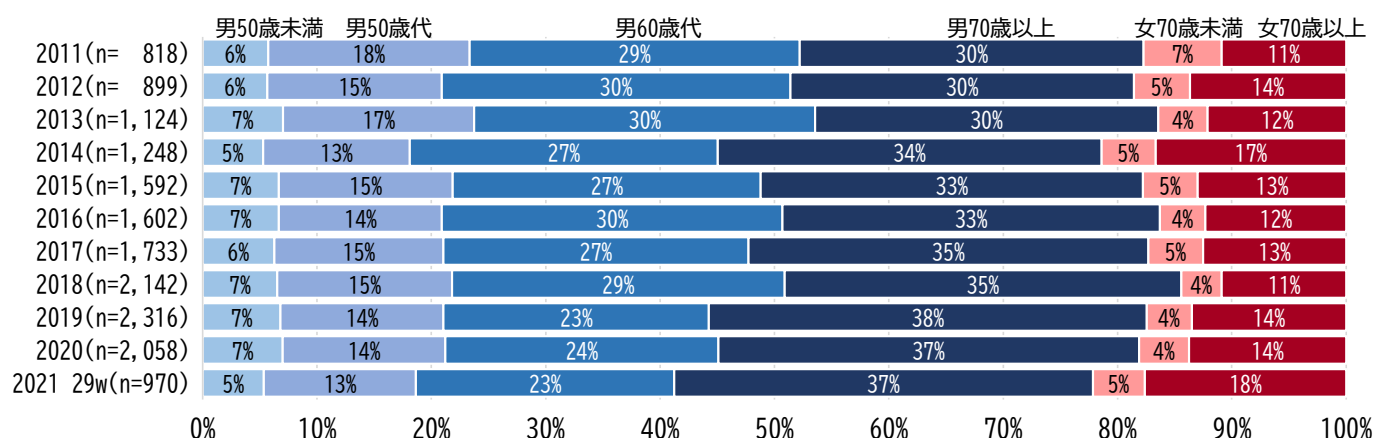


図2 全国の性別・年齢階級別割合(2011年～2021年第29週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第29週

疾病,行政区別報告数

2021年7月19日～2021年7月25日

データ入手日:2021年7月29日

	インフル エンザ （※1）	R S ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性 髄 膜 炎 （※2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 （※3）	感 染 性 胃 腸 炎 （※4）
男女合計																		
北	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	13	-	-	6	-	-	-	4	-	-	-	-					
中京	-	3	-	1	7	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-							
山科	-	35	-	2	2	-	-	-	3	-	1	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-							
右京	-	37	2	14	12	-	1	-	-	-	-	-	-					
伏見	-	13	2	3	35	-	-	-	6	-	-	-	-					
西京	-	1	1	3	12	-	-	-	-	-	1	-	-					
京都市計	-	106	5	23	78	-	1	-	13	2	2	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ （※1）	R S ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	頭 炎 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性 髄 膜 炎 （※2）	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 （※3）	感 染 性 胃 腸 炎 （※4）
男女合計																		
北	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	3.25	-	-	1.50	-	-	-	1.00	-	-	-	-					
中京	-	1.00	-	0.33	2.33	-	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.00	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-							
山科	-	7.00	-	0.40	0.40	-	-	-	0.60	-	0.20	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-							
右京	-	7.40	0.40	2.80	2.40	-	0.20	-	-	-	-	-	-					
伏見	-	1.86	0.29	0.43	5.00	-	-	-	0.86	-	-	-	-					
西京	-	0.20	0.20	0.60	2.40	-	-	-	-	-	0.20	-	-					
京都市計	-	2.47	0.12	0.53	1.81	-	0.02	-	0.30	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第29週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年7月19日～2021年7月25日

データ入手日:2021年7月29日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～	1歳 1歳 1歳 5歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 30歳～ 65歳～	40歳～ 40歳～ 40歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～ 50歳～ 50歳～	60歳～ 60歳～ 60歳～ 60歳～	70歳～ 70歳以上 70歳～ 70歳以上	80歳以上
男女合計																						
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	106	7	13	29	23	18	12	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽 頭 結 膜 熱		5	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23	-	-	4	4	3	4	2	1	1	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		78	-	5	13	7	7	9	5	4	8	1	3	7	-	9	-	-	-	-	-	-
水 痘		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手 足 口 病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝 染 性 紅 斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	4	6	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ ^{※1)}	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	2.47	0.16	0.30	0.67	0.53	0.42	0.28	0.09	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.12	－	－	0.09	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.53	－	－	0.09	0.09	0.07	0.09	0.05	0.02	0.02	－	0.02	－	0.02	0.05						
感染性胃腸炎		1.81	－	0.12	0.30	0.16	0.16	0.21	0.12	0.09	0.19	0.02	0.07	0.16	－	0.21						
水 痘		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
手 足 口 病		0.02	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.30	－	0.09	0.14	0.05	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.05	－	－	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.05	－	－	－	－	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 ^{※2)}	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
クラミジア肺炎 ^{※3)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染性胃腸炎 ^{※4)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第29週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年7月29日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		140	147	110	103	151	106
咽 頭 結 膜 熱		23	6	12	5	7	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		51	42	52	52	24	23
感染性胃腸炎		100	141	131	112	110	78
水 痘		3	4	1	2	2	－
手 足 口 病		4	4	10	2	4	1
伝 染 性 紅 斑		1	－	1	－	－	－
突発性発しん		11	16	11	12	15	13
ヘルパンギーナ		2	3	3	6	4	2
流行性耳下腺炎		1	2	3	－	6	2
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		1	1	3	－	2	－
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		337	366	337	294	325	230

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		3.26	3.42	2.56	2.40	3.51	2.47
咽 頭 結 膜 熱		0.53	0.14	0.28	0.12	0.16	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.19	0.98	1.21	1.21	0.56	0.53
感染性胃腸炎		2.33	3.28	3.05	2.60	2.56	1.81
水 痘		0.07	0.09	0.02	0.05	0.05	－
手 足 口 病		0.09	0.09	0.23	0.05	0.09	0.02
伝 染 性 紅 斑		0.02	－	0.02	－	－	－
突発性発しん		0.26	0.37	0.26	0.28	0.35	0.30
ヘルパンギーナ		0.05	0.07	0.07	0.14	0.09	0.05
流行性耳下腺炎		0.02	0.05	0.07	－	0.14	0.05
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.10	0.10	0.30	－	0.20	－
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		7.91	8.59	8.07	6.84	7.71	5.35

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。